

認知症を学ぶ 地域ミニ講座

認知症の患者・家族を 地域で支えるために

医療法人社団三結会
みつば脳神経クリニック
院長 大木 剛



本日の内容

1. 認知症について
2. 自分・家族が認知症になったら
3. 認知症カフェについて

1. 認知症について

1、認知症について

<認知症の定義>

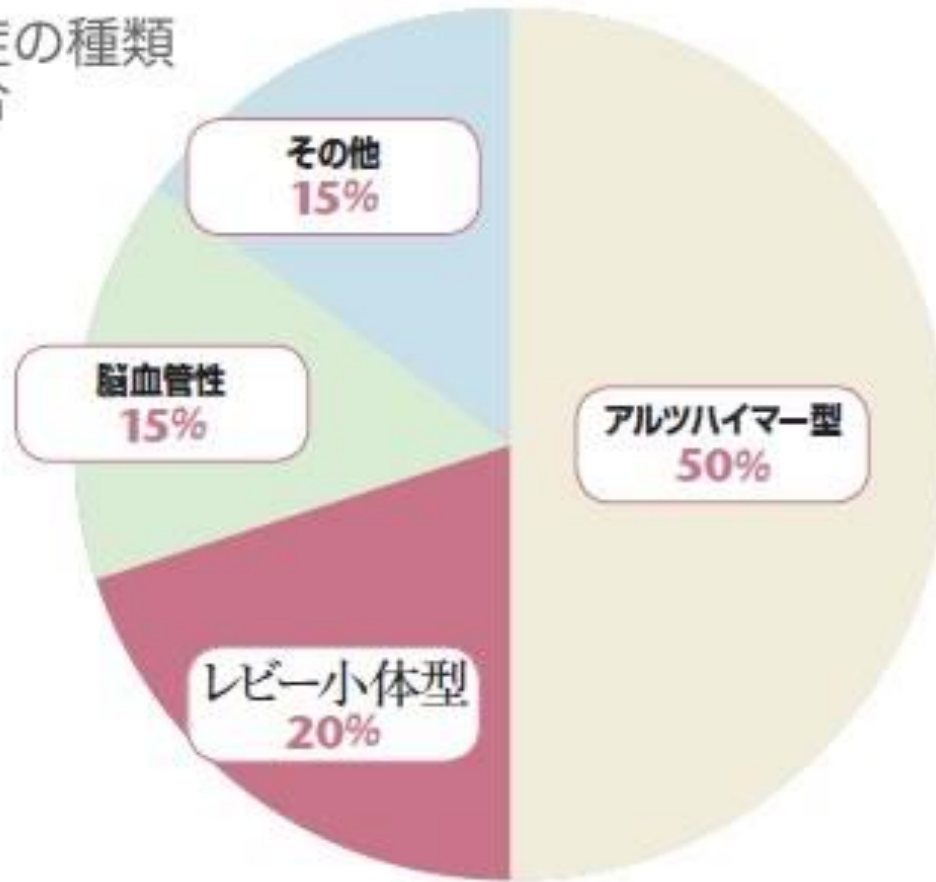
正常に達した知的機能が後天的な器質性障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態

出典：認知症テキストブック 日本認知症学会編

1. 認知症について

＜認知症の種類＞

認知症の種類
と割合



出典: レビー小体型認知症家族を支える会ホームページ

中核症状 と BPSD（行動・心理症状）

DVD供覧

〈中核症状〉

1、認知症について

＜中核症状とBPSD（行動・心理症状）-1＞



1、認知症について

＜中核症状とBPSD（行動・心理症状）-2＞

- 中核症状

→改善できない症状

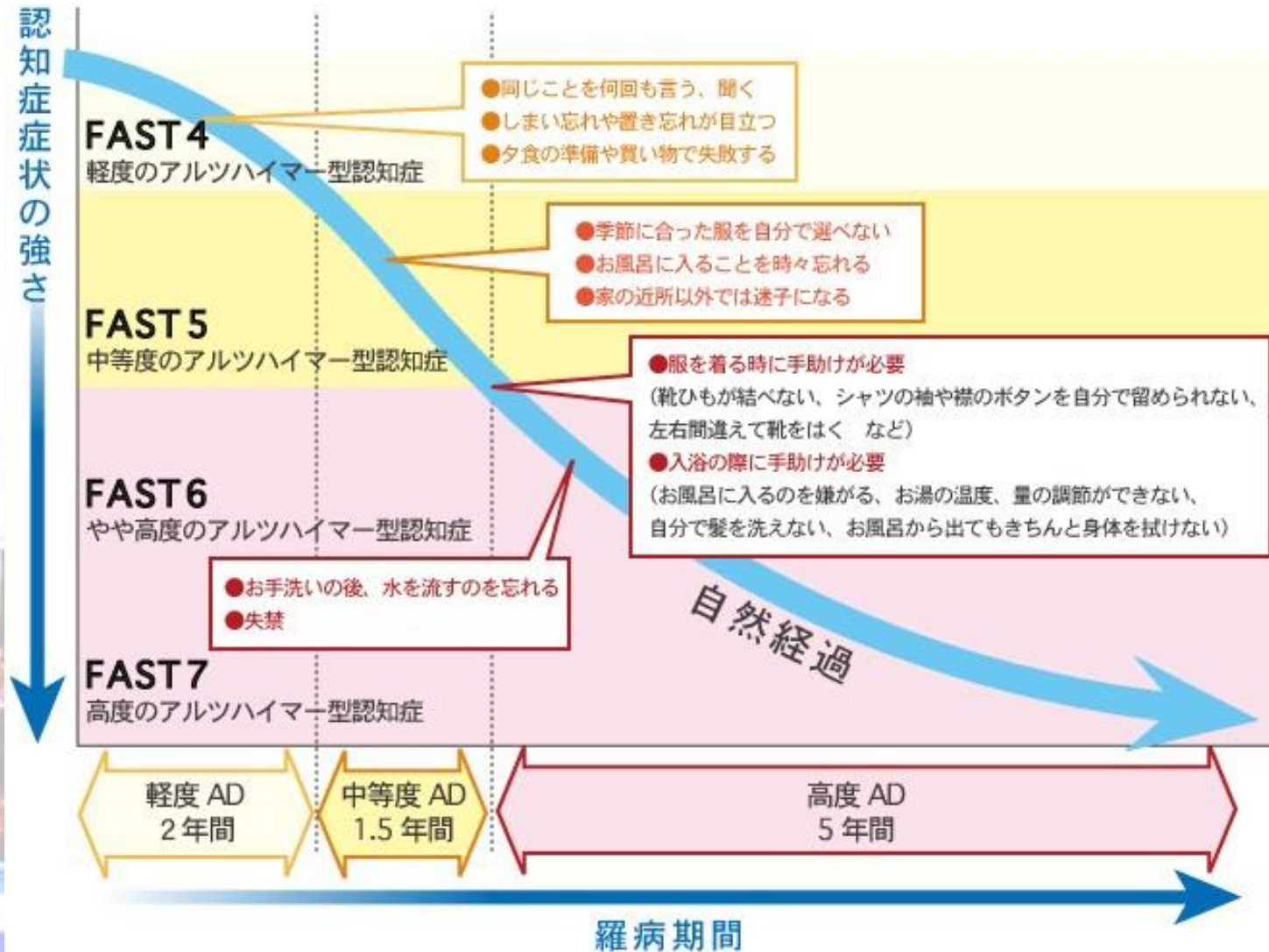
- BPSD

→改善できる症状

アルツハイマー型認知症 と レビー小体型認知症

1. 認知症について

＜アルツハイマー型認知症-1＞



1. 認知症について

<アルツハイマー型認知症-2>



1. 認知症について

<レビー小体型認知症-1>

動揺性を示す 認知症状

- 調子の良いときと悪いときが明瞭である。
昨日は病前と変わらないほど調子良かったが、
今日はとんちんかん、ということが多い。
- 同じ薬を飲んでいるのに調子に波がある。
- 朝の起床時や昼寝の後は調子が悪いが、しばらくすると良くなる。

幻覚 (とくに幻視)

- 具体的な内容の反復した幻視が多い。
「赤い服を着た子どもが布団の上に座っている」
「蛇が花瓶から出てきた」
- 人物や動物、物が小さくみえると訴える。
- 視線を移動すると幻視が消えることが少なくない。

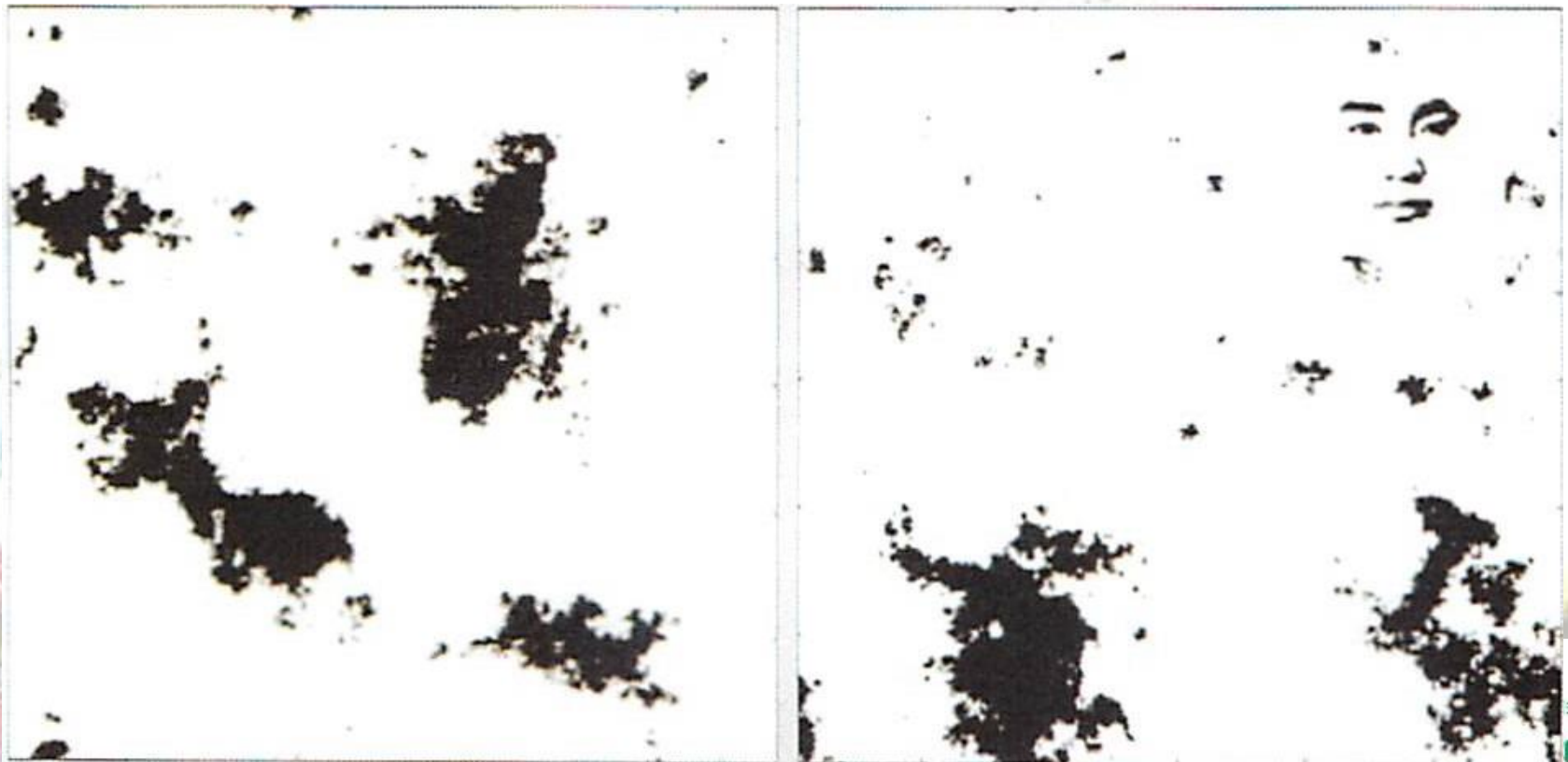
パーキンソン 症状

- 表情に乏しい(仮面様顔貌)、動作緩慢、筋肉がこわばる、
転びやすい、小股歩行、歩きにくいことが特徴。
パーキンソン病と異なり振戦は少ない。
症状が薬剤性ではないこと。

1. 認知症について

＜レビー小体型認知症-2＞

—幻視—



パレイドリアテスト

認知症の検査

1. 認知症について

＜認知症の検査＞

- 頭部MRI検査

→ 脳のかたちをチェック！

- 記憶力テスト

→ 脳のはらたきをチェック！

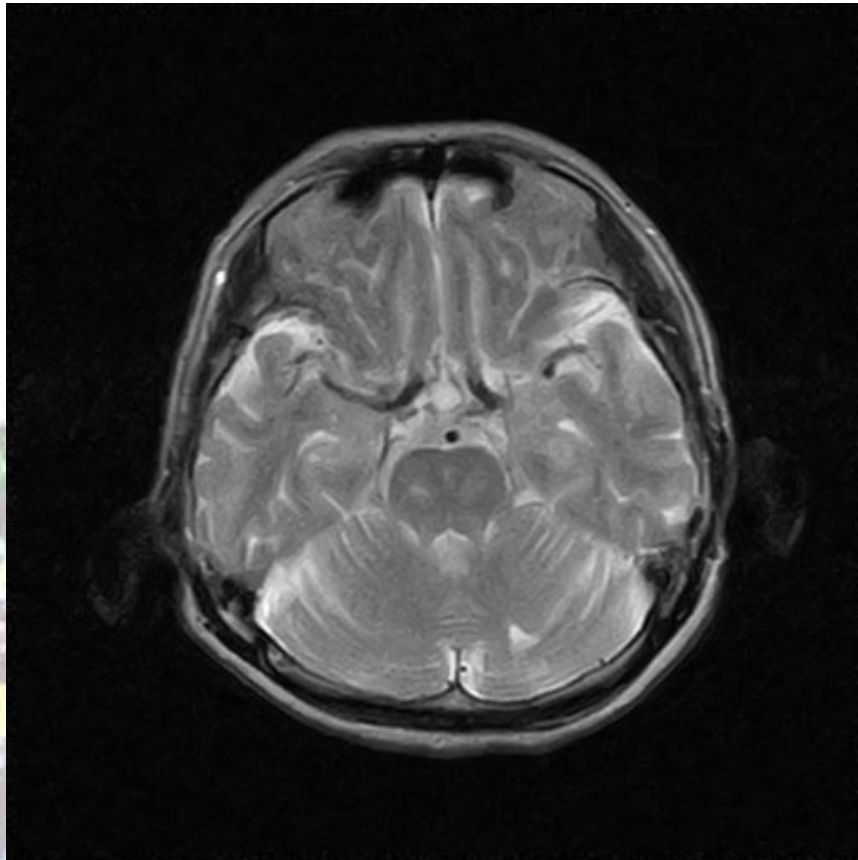
- 血液検査

→ 全身の病気をチェック！

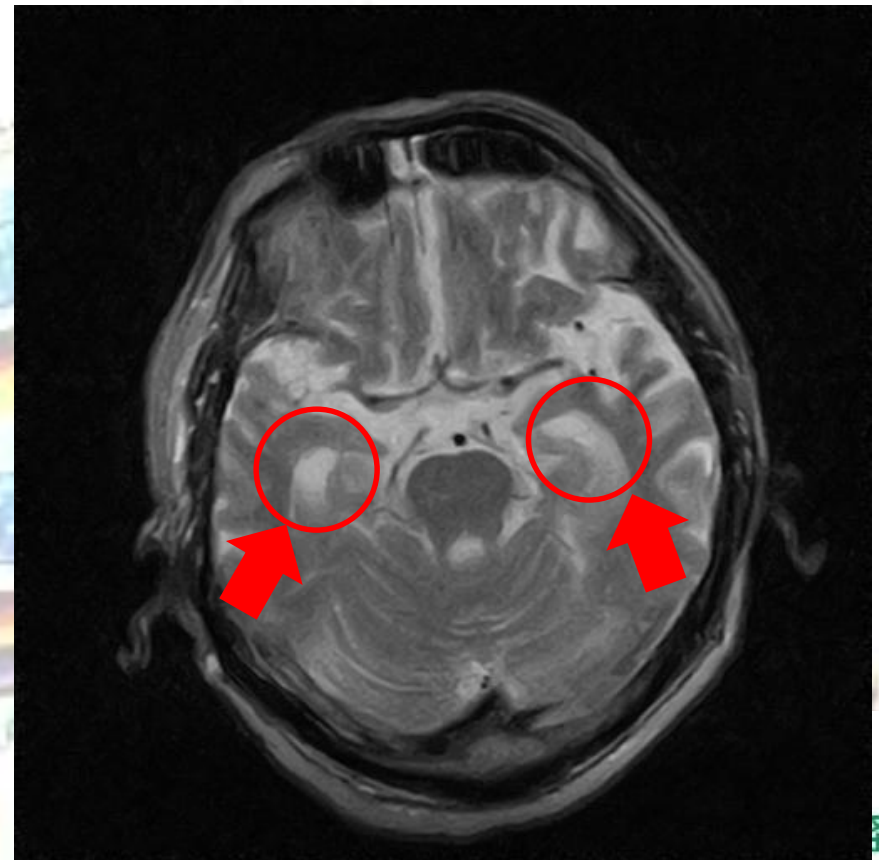
1. 認知症について

＜認知症の検査-頭部MRI(1)＞

正常高齢者



アルツハイマー型認知症

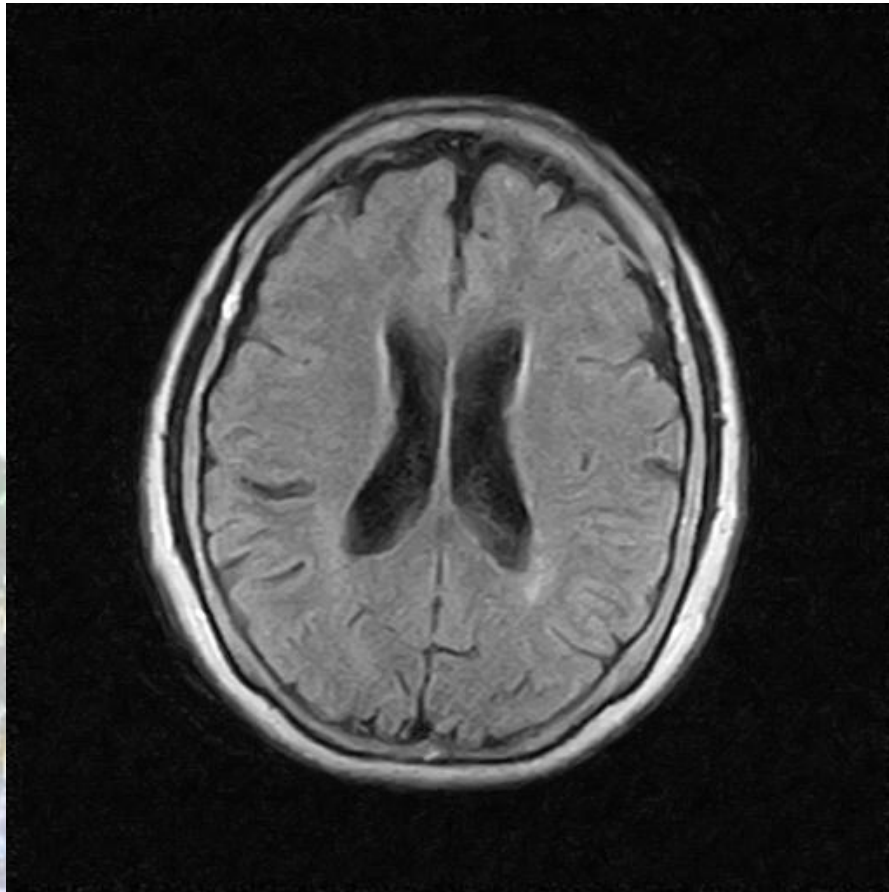


海馬(記憶に関わる脳の部分)のやせ

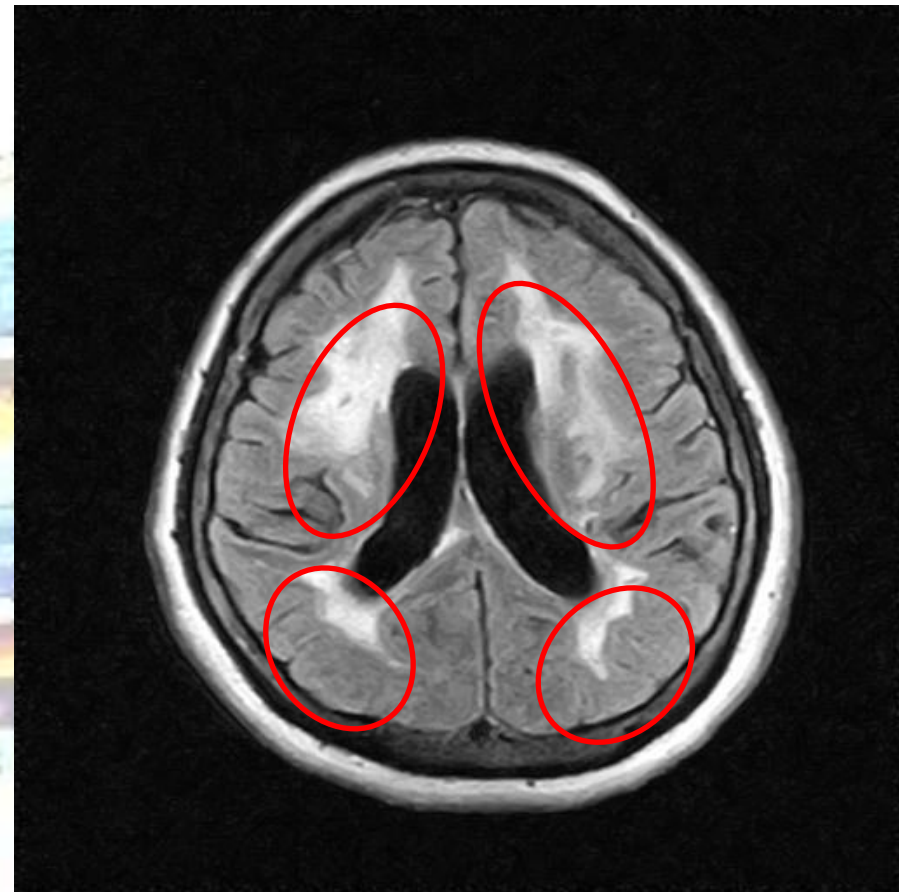
1. 認知症について

＜認知症の検査-頭部MRI(2)＞

正常高齢者



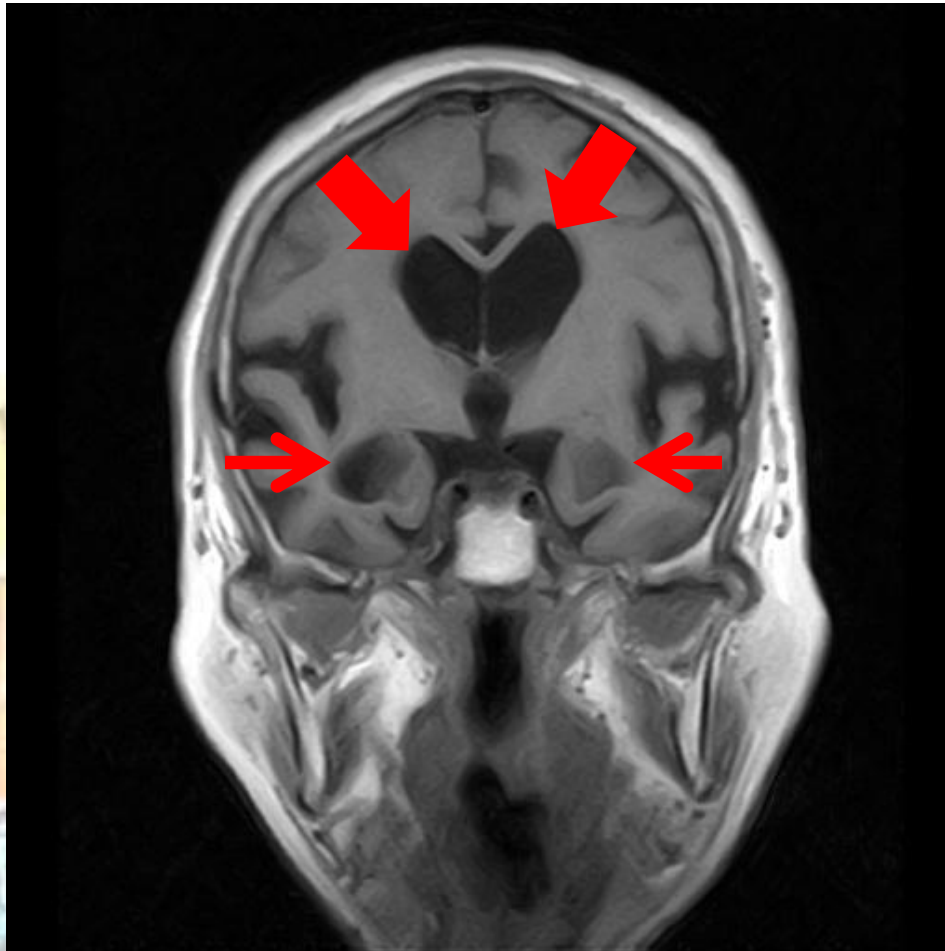
血管性認知症



血管性認知症

1. 認知症について

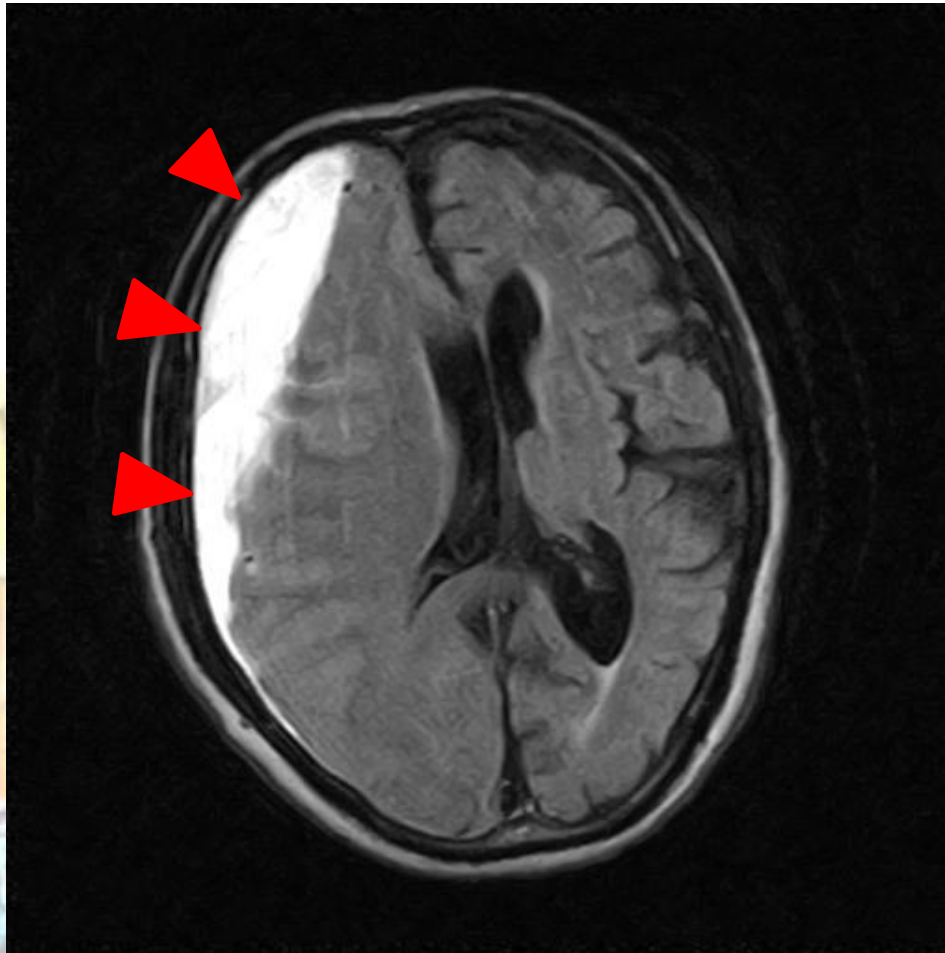
＜認知症の検査-頭部MRI(3)＞



正常圧水頭症

1. 認知症について

＜認知症の検査-頭部MRI(4)＞



慢性硬膜下血腫

1. 認知症について

<認知症の検査-記憶力テスト(1)>

患者	年齢:79 性別:女			
	質問内容	回答	得点	
1(5点)	今年は何年ですか	H?年	0	
	今の季節は何ですか	?	0	
	今日は何曜日ですか	?曜日	0	
	今日は何月何日ですか	?月	0	
		?日	0	
2(5点)	ここは何県ですか	千葉県	1	
	ここは何市ですか	佐倉市	1	
	ここは何病院ですか		1	
	ここは何階ですか	1	1	
	ここは何地方ですか。(例:近畿地方)		0	
3(3点)	物品名3個(相互に無関係) 検者は物の名前を1秒間に1個ずつ言う。その後、被検者に繰り返させる。 正答1個につき1点を与える。3個すべて正答で繰り返す(6回まで)。 何回繰り返したかを記せ一回		3	
4(5点)	100から順に7を引く(5回まで)。		1	93、8?
5(3点)	3で提示した物品名を再度復唱させる。		0	
6(2点)	(時計を見せながら)これは何ですか。 (鉛筆を見せながら)これは何ですか。		1	
7(1点)	次の文章を繰り返す。 「みんなで、力を合わせて綱をひきます」		1	
8(3点)	(3段階の命令) 「右手にこの紙を持ってください」 「それを半分に折りたたんでください」 「机の上に置いてください」		1	
9(1点)	(次の文章を読んでその指示に従ってください) 「眼を閉じなさい」		1	
10(1点)	(何か文章を書いてください)		1	
11(1点)	(次の図形を書いてください)		1	
			17	
	カットオフ値23/24			

アルツハイマー型認知症

1. 認知症について

<認知症の検査-記憶力テスト(2)>

患者ID865	年齢:70	性別:男			
	質問内容	回答	得点		
1(5点)	今年は何年ですか	?年	0		
	今の季節は何ですか	夏	1		
	今日は何曜日ですか	木曜日	0		
	今日は何月何日ですか	7月	1		
		2?日	0		
2(5点)	ここは何県ですか	千葉県	1		
	ここは何市ですか	佐倉市	1		
	ここは何病院ですか	?	0		
	ここは何階ですか		1		
	ここは何地方ですか。(例:近畿地方)	関東	1		
3(3点)	物品名3個(相互に無関係)		2		
	検者は物の名前を1秒間に1個ずつ言う。その後、被検者に繰り返させる。				
	正答1個につき1点を与える。3個すべて正答で繰り返す(6回まで)				
	何回繰り返したかを記せ一回		3		
4(5点)	100から順に7を引く(5回まで)。		1	93、85・・・83	
5(3点)	3で提示した物品名を再度復唱させる。		3		
6(2点)	(時計を見せながら)これは何ですか。		1		
	(鉛筆を見せながら)これは何ですか。		1		
7(1点)	次の文章を繰り返す。		1		
	「みんなで、力を合わせて綱をひきます」				
8(3点)	(3段階の命令)				
	「右手にこの紙を持ってください」		1		
	「それを半分に折りたたんでください」		1		
	「机の上に置いてください」		1		
9(1点)	(次の文章を読んでその指示に従ってください)		1		
	「眼を閉じなさい」				
10(1点)	(何か文章を書いてください)		1		
11(1点)	(次の図形を書いてください)		1		
			20		
	カットオフ値23/24				

レビー小体型認知症

1. 認知症について

＜認知症の検査-血液検査＞

- 全身疾患
 - 肝疾患、腎疾患、貧血
- 代謝性疾患
 - 血糖異常、電解質異常
- ビタミン不足
 - ビタミンB1、B12、その他

認知症の治療

1. 認知症について

<認知症の治療-薬物療法>

- コリンエステラーゼ阻害薬

–ドネペジル	1回/日	内服
--------	------	----

–ガランタミン	2回/日	内服
---------	------	----

–リバスチグミン パッチ	1回/日	貼付
--------------	------	----

- NMDA受容体刺激薬

–メマンチン	1回/日	内服
--------	------	----

1. 認知症について

<認知症の治療-非薬物療法>

認知機能訓練	記憶、注意、問題解決など、認知機能の特定の領域に焦点をあて、個々の機能レベルに合わせた課題を、紙面やコンピュータを用いて行う。個人療法とグループ療法がある。
認知刺激	元来は、リアリティオリエンテーションから発展してきたもの。認知機能や社会機能の全般的な強化を目的とした、活動やディスカッション(通常はグループで行う)などのさまざまな関与を指す。認知に焦点をあてて正しい見当識などの情報を繰り返し教示する介入法としての集団リアリティオリエンテーションは、近年では、認知刺激に属するものとするものも多い。
認知リハビリテーション	個別のゴール設定を行い、その目標に向けて戦略的に、セラピストが患者や家族に対して個人療法を行う。日常生活機能の改善に主眼が置かれ、障害された機能を補う方法を確立する。
運動療法	多種多様なプログラムが存在する。週2回～毎日、20～75分程度のプログラムが報告されている。運動の内容は、有酸素運動、筋力強化訓練、平衡感覚訓練などに分類され、これらの複数の運動を組み合わせるプログラムを構成することが多い。
音楽療法	多種多様なプログラムが存在する。週1～5回、10～60分のプログラムが報告されている。音楽を聴く、歌う、打楽器などの演奏、リズム運動などの方法があり、これらを組み合わせるプログラムを構成することが多い。
回想法	高齢者の過去の人生の歴史に焦点をあて、ライフヒストリーを聞き手が受容的、共感的、支持的に傾聴することを通じて、心を支えることを目的としている。
認知行動療法	この場合、「認知」とは、物事の受け取り方や考え方を指し、精神状態が不安定なときに歪みがちな認知を修正することで、ストレス軽減を図る精神療法の技法の1つである。認知症診療の場面では、介護者に対する介入法として試みられているが、エビデンスレベルは高くない。

認知症の症状への対応

DVD供覧

〈行動・心理症状(BPSD)〉

1. 認知症について

＜認知症の症状への対応（記憶障害）＞

→不安感が大きくかかわっている場合が多い

→日時については、デジタル時計が有効な場合あり。

→記憶力低下を利用し、興味を逸らす。

1. 認知症について

<認知症の症状への対応(徘徊)>

- 道順障害

- 空間的な知覚・記憶の喪失

- 記憶力低下

- 歩き出した目的を忘れる

- 感情障害

- 不安感、じっとしてられない

- 日中の散歩で、感情を鎮める。

- 昼夜逆転にも有効。

1. 認知症について

<認知症の症状への対応(妄想)>

- もの盗られ妄想

→記憶力低下＋感情障害

→本人の言い分をゆっくり聞き、
一緒に探し、感情障害を鎮める

- 幻覚

→レビー小体型認知症で特徴的な幻視

→見間違えないよう、部屋を整理する
部屋を明るくする
一緒に触ってみる

1. 認知症について

< 認知症の症状への対応（対応の基本） >

①感情障害をコントロールする

②記憶力低下をうまく利用する



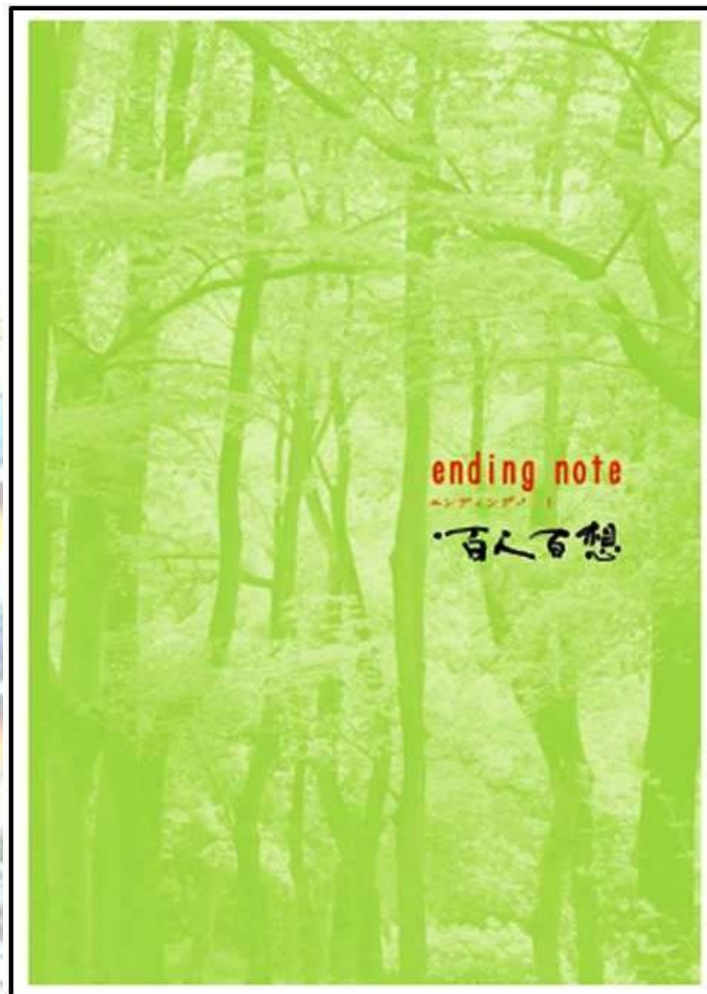
2. 自分・家族が認知症になったら



2. 自分・家族が認知症になったら

- 正確な診断
- 適切な治療
- 病気・本人の理解

2. 自分・家族が認知症になったら ＜エンディングノートの活用＞



3. 認知症カフェについて



3. 認知症カフェについて

<オレンジカフェ>



認知症のご本人・ご家族・専門職・認知症サポーターが出会い、つどい、語り合う場

オレンジカフェのご案内



認知症にやさしい社会

オレンジカフェが、市内9か所に増えました。住んでいる地域にかかわらず、どの地域のカフェでも、お気軽にご参加いただけます。
看護師や介護職による相談にも対応しています。
認知症のご本人・ご家族、認知症が気になる方、認知症サポーターのみなさんの参加をお待ちしています！

オレンジカフェ 日程 (平成29年8月～平成30年3月開催分)												
名称	開設場所	電話番号	曜日	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
こんべいとう	そばカフェ301	462-9531	水	16	20	18	15	20	17	21	14	
ユーカリが丘6-4-1				開設時間 14:00～16:00 茶葉代100円 ※軽食は有料								
茶々まる	特別養護老人ホーム ゆたか苑	460-7700	日	20	10	8	12	10	14	18	11	
上志津原9				開設時間 13:00～15:00 茶葉代200円								
シーズ カフェ C's cafe	志津市民プラザ1階	310-6110	月	-	4	2	6	4	8	5	5	
上志津1672-7				開設時間 10:00～15:00 茶葉代300円 (飲み物に手作りケーキ) ※ランチは別途600円								
ひまわり	リハビリデイ ひまわりの里	488-3731	日	27	17	22	26	17	28	25	25	
生谷1613-9				開設時間 13:30～15:30 茶葉代200円								
さくらの丘	特別養護老人ホーム さくらの丘	481-3020	日	20	17	15	19	17	21	18	18	
飯重622				開設時間 14:00～16:00 茶葉代200円								
みやさん	カフェテラス マウンテン	488-5151	木	10	14	12	9	14	11	8	8	
宮前3-21-8				開設時間 9:30～11:30 茶葉代200円 (ワンドリンク+菓子) ※おかわり・軽食有料								
やまびこ	特別養護老人ホーム さくら苑	486-5050	土	26	30	28	25	23	27	24	31	
錦木町346				開設時間 13:30～15:30 茶葉代100円								
はちす	高齢者ケアセンター はちす苑	483-5520	日	27	24	22	26	17	28	25	25	
太田1145-1				開設時間 13:30～15:30 茶葉代200円								
もりもり	特別養護老人ホーム ときわの杜	485-3711	日	20	10	8	12	10	14	11	11	
石川556				開設時間 13:30～15:30 茶葉代300円								

佐倉市役所 高齢者福祉課 043-484-6343



3. 認知症カフェについて

<認知症の人と家族の会>

- 公益社団法人認知症の人と家族の会
 - 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3
千葉県社会福祉センター3階
 - TEL043-204-8228
 - 月・火・木・ 13時～16時まで)
- <http://sites.google.com/site/alzheimerchibajp/>

まとめ

- きちんと医療（診断・治療）
- きちんと理解（病気・本人）
- きちんと連携（介護・福祉・仲間）